

第3章 石器時代

① 人類の誕生

(1) 12月31日午後23時57分40秒

地球はおよそ46億年前に誕生した。生命が誕生したのがおよそ40億年前。そして原人が現れたのがおよそ600万年前。さらに人類の直接の祖先にあたると言われているクロマニヨン人が現れたのがほんの3万年である。地球の誕生から現在までを1年にたとえると、それは12月31日午後23時57分40秒に相当する。

【地質学的年表】

相対年代		主なできごと	絶対年代		
新生代	第四紀	完新世	氷河時代の終わり	1万年前	
		更新世	人類の発達		
	第三紀	新第三紀	鮮新世	人類の出現	600万年前
			中新世		
		古第三紀	漸新世		
			始新世 暁新世		
中生代	白亜紀	巨大爬虫類の絶滅	6550万年前		
	ジュラ紀	鳥類の出現			
	トリアス紀(三畳紀)	巨大爬虫類の出現、哺乳類の出現			
古生代	ペルム紀(二畳紀)	生物の大量絶滅			
	石炭紀	昆虫類の出現・爬虫類の出現			
	デボン紀	魚類・両生類の出現			
	シルル紀	植物の上陸			
	オルドビス紀	サンゴの出現			
	カンブリア紀	三葉虫が栄える			
先カンブリア紀	原生代				
	始生代	最古の化石 生命の誕生	35億年前 40億年前		
	冥王代	地球の誕生	46億年前		

(2) 更新世(氷河時代)

人類が地球上で進化発達していったのは、新生代第四紀更新世である。(これより後は簡単に「更新世」と記す。) 更新世は氷河時代とも言われ、気温が低く、地球規模で氷河が広がっていた。しかし、この時代を通して寒かったわけではなく、寒い氷期と暖かい間氷期とが周期的に繰り返されていた。更新世の間に、4回の氷期があったことがわかっている。そしておよそ(1万)年前に最後の氷期が終わった。

(3) 更新世の日本のようす

氷期には高緯度地帯の大量の水が氷として陸上に存在するため海面は低下する。日本列島は、北海道が樺太とつながり、九州が朝鮮半島と陸続きになった。その結果、北からは(マンモス)やヘラ鹿が南下し、南からは(ナウマンゾウ)や大角鹿が日本へ渡ってきた。これらの動物とともに人類も日本列島に渡ってきたと考えられている。

(4) 日本列島の誕生

今からおよそ1万年前、気候が暖かくなり、氷河が解けて海水面が上昇した。日本列島は大陸から切り離され、ほぼ現在のような地形になった。ナウマン象などの大形動物は絶滅し、鹿・猪などの中小形動物が繁殖し、寒冷な気候に育つ針葉樹林の森が減り、温暖な気候に育つ広葉樹林の森が発達した。こうした自然環境の変化が人間の生活を変えていったと考えられる。

② 石器時代

(1) 先史時代の区分

先史時代（文字で書かれた記録のない時代）の人類の文化は、その当時に使用された道具、特にその材質によって区分される。すなわち、（旧石器時代）→（新石器時代）→（青銅器時代）→（鉄器時代）と区分される。しかし、これはヨーロッパで見いだされた文化発達の過程区分であり、全ての地域で当てはまるとは限らない。日本では、3万5000年前より古い時代を前期旧石器時代、3万5000年～1万年前を後期旧石器時代、1万年前から始まる縄文時代が新石器時代、紀元前4、5世紀頃から始まる弥生時代とそれに続く古墳時代が青銅器時代・鉄器時代ということになる。

(2) 旧石器時代

日本列島にいつ頃から人が住むようになったのは不明であるが、長い間、更新世の日本列島には人は住んでいなかったと思われていた。ところが、1946(昭和21)年、独学で考古学を研究していた相沢忠洋氏が、群馬県新田郡笠懸町岩宿の赤土層の中から打製石器を発見したことにより、日本列島にも旧石器時代が存在していたことが判明した(岩宿遺跡の発見)。日本では、縄文土器の時代以前の時代という意味合いで、先土器時代とも呼ばれる。

【旧石器時代の主な遺跡や化石】

遺跡名・化石名	遺跡発見地	発見年	遺跡の内容
岩宿遺跡	群馬県新田郡(現みどり市)	1946年	石器
野尻湖遺跡	長野県信濃町	1948年	ナウマン象の化石
港川人骨	沖縄県具志頭村(現八重瀬町)	1968年	約1万8000年前の人骨
浜北人骨	静岡県浜北市(現浜松市)	1960年～1962年	更新世後期の人骨

(3) 新石器時代

氷河が解け地球が温暖になると、人間の生活にも変化が起こった。野生植物から食料に適したものを栽培するようになり、動物を飼いならすようになった。つまり、（農耕）や（牧畜）の開始である。農耕や牧畜の開始時期は地域によって大きな差がある。9000年前の西アジアにおける麦類の栽培が最古の農業と言われるが、東南アジアのタロイモやバナナの栽培の方が早いという説もある。農耕や牧畜が始まると、人々は耕地の近くに家を作り、（定住）するようになった。石器も表面を磨いて刃を尖らせた（磨製石器）をも使うようになり、食料の保

存や調理のために(土器)も作られた。考古学では、新石器時代の特徴として、磨製石器と土器の使用、農耕や牧畜などの食料生産段階の社会があげられる。日本の縄文時代は磨製石器や土器を使用しているので新石器時代と言えるが、社会の段階はまだ食料採取段階である。

【地域別農業・牧畜の開始時期】

	10,000 年前	8,000 年前	6,000 年前	4,000 年前	2,000 年前
日本					稲
中国				あわ・きび・稲	
東南アジア			タロイモ・バナナ		
インド				麦	
西アジア		麦			
エジプト				麦	
ヨーロッパ			麦		
中央アメリカ					とうもろこし・かぼちゃ

(4)縄文時代

今からおよそ1万年前、日本列島に住んでいた人々は、森ではどんぐり・くるみ・くりなどの木の実を採集し、猪や鹿などを落とし穴や弓矢で狩り、海や川・湖では動物の骨や角で作った銚やヤスなどの骨角器で漁をした。狩猟採集した食料は、(土器)を用いて、保存したり煮炊きをしたりした。この時代の土器の特徴は、表面には縄目の文様があり、厚手できめがあらく、もろい作りだった。石器は打製石器だけでなく、表面を磨いて刃を尖らせた(磨製石器)をも使うようになっていた。このように、狩猟採集生活をし土器や磨製石器を使っていた頃の文化を縄文文化といい、その時代を(縄文時代)という。縄文時代は紀元前4世紀頃まで続く。

【縄文時代の主な遺跡や化石】

遺跡名・化石名	遺跡発見地	発見年	遺跡の内容
大森貝塚	東京都(品川区～大田区)	1877年	貝塚
三内丸山遺跡	青森県青森市	1992年～1994年	大集落遺跡

(5) 縄文時代の生活と文化

多彩な食料獲得技術に支えられて、縄文時代の人々の生活は安定していたと考えられている。一箇所に長い間住み続ける(**定住**)生活を送っていた。住居は(**竪穴住居**)といい、地面を40～50cmの深さに掘りくぼめた竪穴の上に、4～5本の柱を立て、草や木の皮で屋根を地面までふきおろした造りになっていた。一戸の居住人数は4～5人、数戸の世帯が集まり(**集落**)を構成し、一つの集落はおおよそ20～30名程度であったと考えられている。竪穴住居の大きさはみな同じくらいの大きさであることや、死者は一箇所に集まって埋葬されていること等から、集団には統率者がいた可能性は高いが、身分の上下関係や貧富の差はなかったと考えられている。集落の周辺には食糧貯蔵用の穴群や食べ物の残りや土器・石器の破片などを破棄する(**貝塚**)などがある。縄文時代の人々の生活は自然の恵みの上に成り立っていたので、自然現象や自然物のなかに靈異の存在を認め、呪術の力で病気や災難から逃れ、豊かな収穫や子孫の繁栄を願ったと考えられる。このような習俗を示す呪術的遺物として(**土偶**)が発見されている。

<< 関連語句 >>

- 放射性炭素¹⁴Cによる年代測定…動植物が死ぬと体内に含まれている放射性炭素¹⁴Cが一定の速度で崩壊し、5730年ほどでもとの量の半分になるという原理を応用した測定方法。この測定方法によれば、日本列島に土器が出現したのは、今からおよそ1万2,000年前にさかのぼる。
- モース…E.S. Morse (1838年～1925年) アメリカの動物学者。1877年に来日、東京大学で生物学を教授。大森貝塚を発見する。
- アニミズム…岩石や樹木などの自然物、動植物には霊魂が存在するものと考え、それらを畏怖し、崇拝する原始宗教。
- 屈葬…死霊の活動を防ぐために、死者の四肢を折り曲げて葬る埋葬形式。

〈〈 参考図書 〉〉

- 『中学社会 歴史』(平成24年発行 教育出版)
- 『チャート式シリーズ 中学歴史』(新指導要領準拠版 第8刷 平成12年発行 数研出版)
- 『中学総合的研究 社会』(改訂版 平成21年発行 旺文社)
- 『中学社会 自由自在』(改訂第2刷版 平成25年発行 受験研究社)
- 『中学歴史の発展的学習』藤井譲治編著 (2007年発行 文英堂)
- 『改訂版 詳説日本史研究』佐藤信・五味文彦・高埜利彦・鳥海靖編 (平成20年発行 山川出版社)
- 『改訂版 日本史[®]用語集』全国歴史教育研究協議会編 (平成21年発行 山川出版社)
- 『改訂新版 新地学』力武常次・永田豊・小川勇二郎共著(平成13年発行 数研出版)
- 『ひとりで学べる地学』大塚韶三・青木寿史・荻島智子編著(平成24年発行 清水書院)
- 『徹底演習テキスト 中学歴史』(2013年度用 受験研究社)
- 『シリウス21 歴史Ⅰ』(育伸社)
- 『中学実力練成テキスト 歴史』(文理)
- 『新中学問題集 歴史Ⅰ』(教育開発出版株式会社)